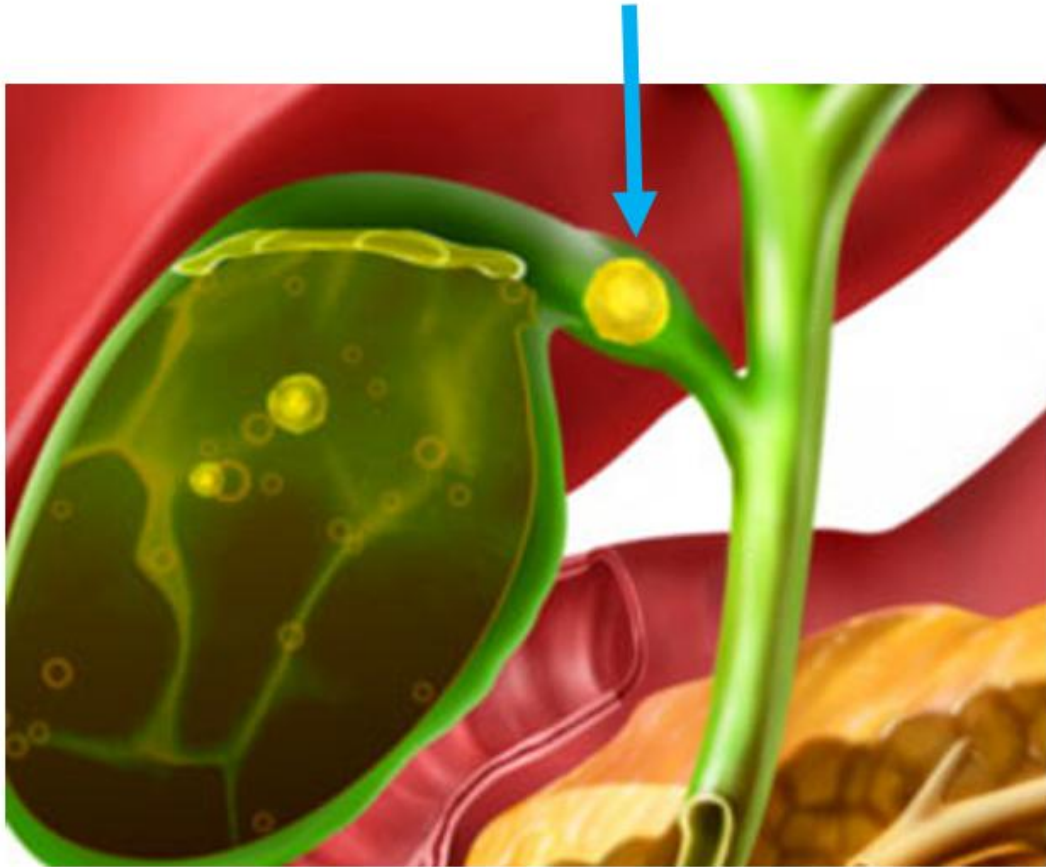


QA 胆のう炎

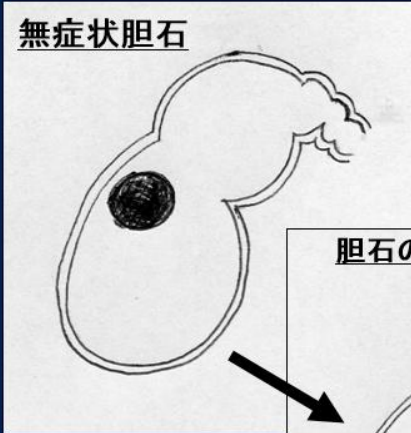
胆のう炎には**急性胆のう炎**と**慢性胆のう炎**があります。

急性胆のう炎は、胆石が胆のう頸部に嵌頓（かんとん）することにより（↑）起こりますが、細菌感染が加わることが多く、重症化すると死に至ることもある危険な病気です。



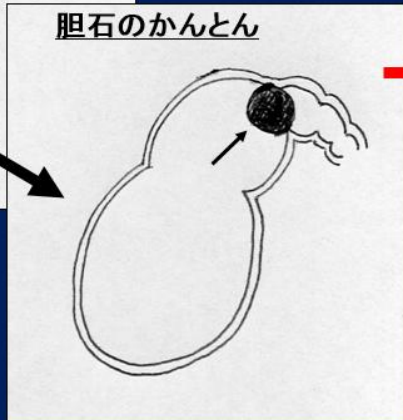
胆のう結石 → 急性胆のう炎

無症状胆石

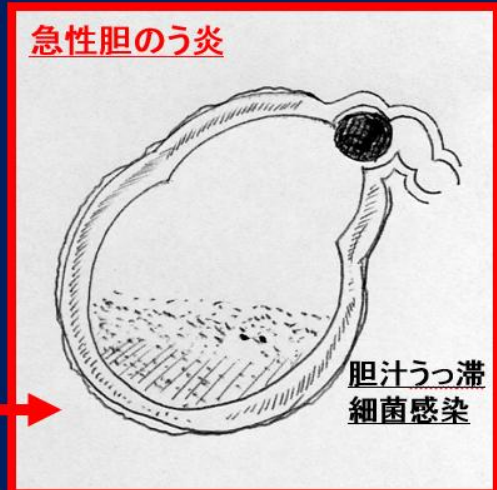


胆嚢内圧上昇

胆石のかんどん

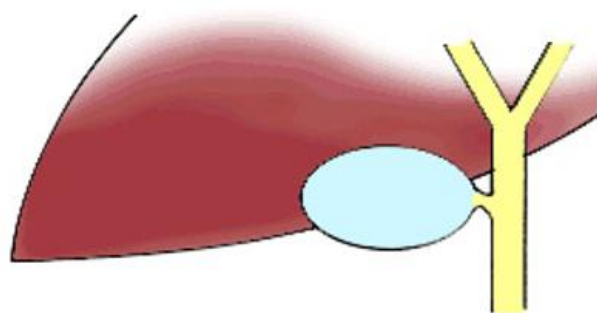


急性胆のう炎

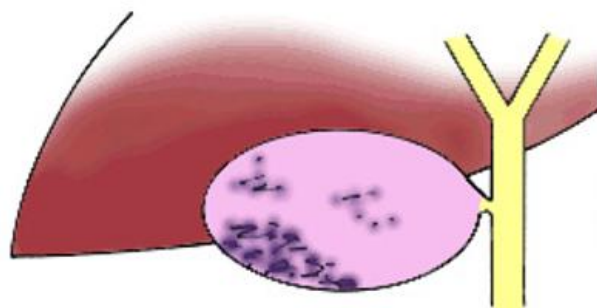


起炎菌：
大腸菌、クレブシエラ、エンテロコッカス、
エンテロバクターなど
クロストリジウム、バクテロイデスなどの
嫌気性菌も

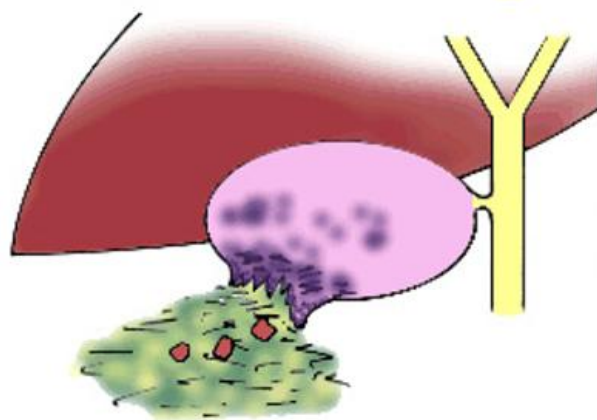
胆嚢壁が化膿して破れたり、腹膜炎を起こすと、緊急手術が必要になります。



正常胆のう



急性胆のう炎



胆のう壁の穿孔

＊＊ 症状は？

食後に右上腹部や背中痛みがおこります。発熱や右肩の痛みが現れます。なるべく早く専門医を受診する必要があります。高熱、悪寒などを伴う場合は、敗血症を合併している可能性があります。



＊＊ 診断は？

血液検査とともに腹部X線検査、超音波検査、CT、MRIなどの画像検査を行います。

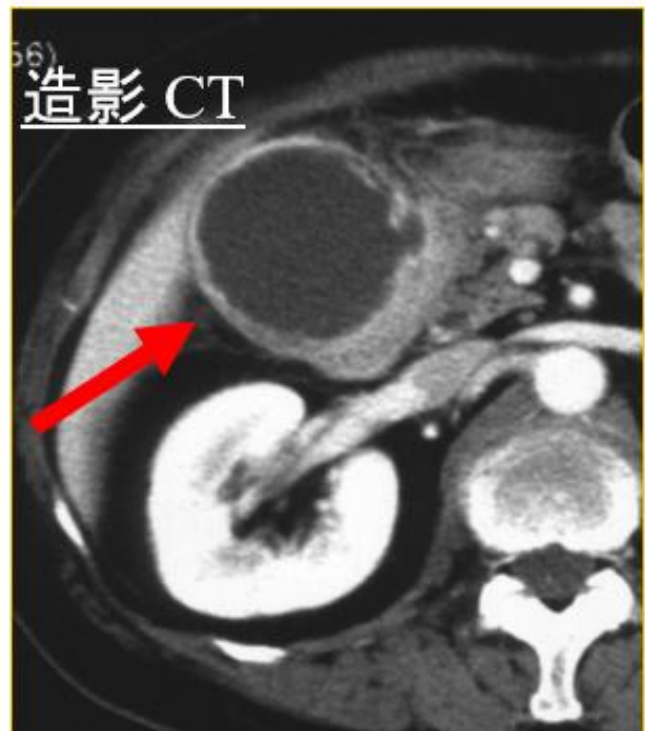
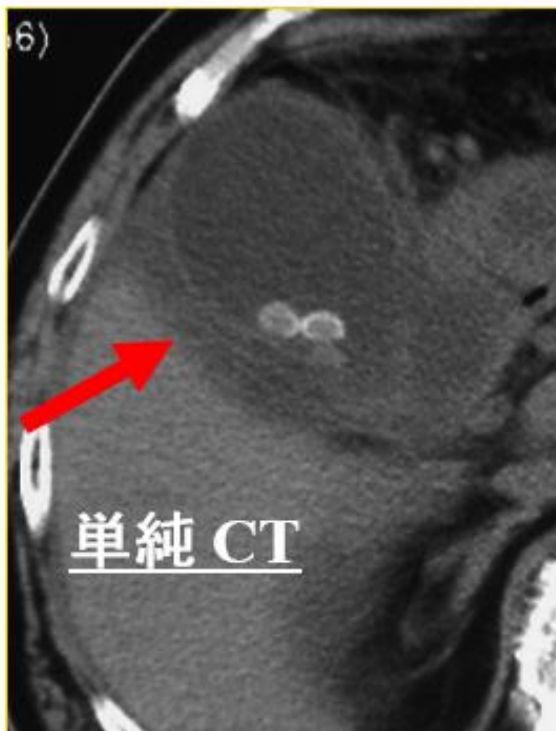
血液検査：

胆のう炎では、白血球や炎症反応の増加を認めます。重症化すると、肝機能異常や血液凝固異常などがあらわれます。

超音波検査、CT、MRI：

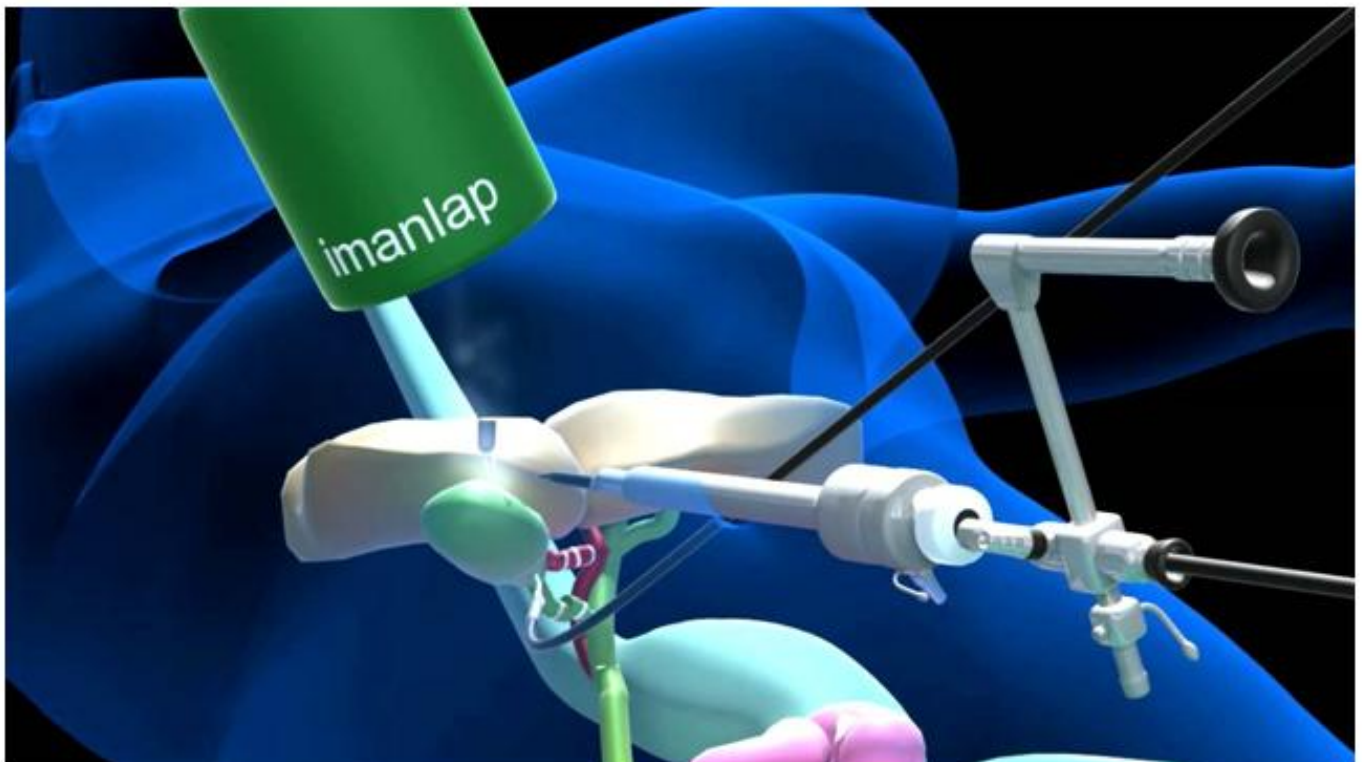
急性胆のう炎では胆のう内に結石が認め

られることが多く、炎症による胆のう壁の肥厚、腫れが見られます。



＊ ＊ 治療は？

炎症の程度が軽ければ、内科的治療で治すことができます。しかし炎症が強い時には、胆嚢内胆汁を体外に排出する処置や胆のう摘出術（開腹手術、腹腔鏡手術）が必要になります。



当クリニックでは、胆のう炎の診療を積極的に行っておりますので、ぜひ一度ご相談ください。



補 足

慢性胆のう炎は、繰り返される炎症によって胆のう壁が厚くなる病気です。

